

「新2号館」に対するご意見と学部からの回答			
カテゴリ	No.	ご意見	回答
全般	1	生産工学部の建物外観は非常に統一感がないため、今あるものの統一感を高める、かつ今後の外観デザインの基準となるような設計が望ましい。また、今後の設計時にも反映されるよう、50年度までのキャンパスプランを作成するなど対策が必要。直接2号館とは関係ないかもしれないが、例えば、正門付近の改修時には歩車分離の礎となるよう、低いながらも車のスペースと歩行スペースに小さな段差を作り、車の侵入可能エリアを制限した。当時の考えではキャンパス外周に車の通る道を作れたらという考えがあったと記憶している。その計画も公的なものではなく、今回のプランで今後50年実現できないものとなる。当然時代により細かなニーズは変わるが、「安全であること」などいつまでも変わらないニーズはある。少なくとも50年後のキャンパスの姿くらいは構想程度でも作っておいた方がいいのではないか。	新2号館の計画に先立ち、現在のキャンパスの問題点を整理し、中・長期的な目標となる「キャンパス整備計画マスタープラン」を作成しています。その中で、キャンパス全体のデザイン統一性やキャンパス内の各ゾーンの位置付けについてもまとめており、新2号館の計画はこれらに基づいています。単なる一施設のデザインに留まらず、これからの津田沼キャンパスが向かうべき方向性を示す象徴となることを目指しています。
全般	2	①講義室があるが講義準備室（講義に関する資材置き場）や講師控室がないようです。事務室と同じ2階に設置されていると便利です。 ②教育部門の事務室設置とありますが、会議室や金庫・倉庫は1号館のままだと思います。1階に降りなくても雨に濡れずに1号館と行き来できる通路が必要だと思います。津田沼校舎には総じてそのような通路がないので、号館移動がとても不便です。 ③エスカレーターについて、生産工学部では節電のために夏や休暇期間に教室・廊下の照明やエレベータを停止していた時期があります。エスカレーターも節電のために止めることがあるのであれば、そもそも階段の方が良いのではないのでしょうか。停止中のエスカレータを歩いて上るのは危険だと思います。 ④現状の国際交流センターは名称・看板だけで実態がないので、国際化活性のためにセンターのスペースとして国際的な交流スペース（留学生と日本人学生との）や、外国人対応用に翻訳ディスプレイを設置した対応窓口・事務部門などを設けて欲しい。また、併せてイングリッシュカフェ、ジャパニーズカフェ、Glo-BE、TOEIC対策講座などは現状では開催場所がその都度まちまちであるため、それらの活動を集約して行えるスペースを国際交流センターとして設けてほしい。（2Fの講義室はそのような用途としてほしい） ⑤一般的な講義用教室と事務室が同じフロアなのは避けて欲しい。	①2階の事務室エリア内に講義準備・控室コーナーを設ける計画となっております。PBL利用を想定した講義室の隣には講義に関する資材置き場としての使用も想定した倉庫を設けています。 ②将来的に2階レベルで1号館との連絡通路が設けられる計画としていますが、実施については現時点では未定です。 ③学生の利便性を考慮した場合、エスカレーターの設置は不可欠です。日常的なランニングコスト等を勘案し、節電対策として乗降検知センサーを検討します。 ④新2号館では、カフェや食堂、外部テラスが充実しているほか、多様な教室が計画されているため、固定された利用用途で考えずにフレキシブルに様々な場所を利用していただきたいと計画しております。ご意見をいただいた利用については、今後検討させていただきます。 ⑤講義室へのアクセス性や1号館との将来動線等を考慮し、音の問題など相互の用途に支障がないよう配慮して計画しています。
全般	3	①エスカレーターは不要です。エレベーターもあるので、階段で十分。設置、保守とお金がかかります。 ②災害時の避難に時間がかかりそうなので1～3階も周回できる作りが良いです。 ③吹抜を無くして、スペースや教室等があった方が年中使えます。	①低層部には講義室や食堂が配置されており、短時間で大量の移動人数を効率的に処理する必要があります。学生たちの利便性を考慮したとき、エスカレーター設置の優先度は非常に高く、他大学の類似施設の事例を見てもエレベーターは不可欠であると考えています。エレベーターについては主に5階以上への移動用で、低層階については車椅子利用者などに補助的に使用してもらうことを想定しています。 ②使用上の様々なことを検討した結果、2～3階は周回はできない計画となりましたが、災害時の避難計画については十分に検討しており何ら問題ありません。 ③最終計画に至る過程で吹抜け部分を室内化する案も十分に検討してきましたが、使い方の異なる各ゾーンの音の問題、空調等のランニングコストなどを含めて総合的に判断して最終計画案に至っています。屋内空間に劣らない居心地の良い半屋外空間となるように設計を進めてまいります。
全般	4	①エスカレーターは不要。エレベーターがあるので、階段で十分かと思います。設置、保守にお金がかかります。固定費となる部分を削減したほうが良いのではないのでしょうか。 ②災害時の避難に時間がかかりそうなので1～3階も周回できる作りが良いです。 ③吹抜は不要かと思います。39号館の吹抜がとても汚く管理が行き届いていません。それと同じことになるのが目に見えています。教室やその他のスペースとして活用できるものを作ったほうが良いのではないのでしょうか。	①No. 3の回答①を参照。 ②No. 3の回答②を参照。 ③39号館の吹抜けとは規模も用途も異なるため、ご指摘の心配は無用です。動線を中心となる空間で、低層階の講義室や食堂を使用する学生たちの賑わいを一望・共有できる象徴的な空間になると考えています。
全般	5	①エスカレーターは不要だと思います。事故が起きる可能性や維持コストの面からも将来的に負担になる可能性が高いように思われます。 ②就職活動中の学生のための「オンライン面接用スペース」があるといいと思います。いくつかのテレキューブ（駅などで見かけるボックス型個室）を設置して外部の音を遮断した環境でオンライン面接を受けられるスペースがあるとよいと考えます。 ③貸し会議室が複数あると様々な用途に使用できるのであれば良いと思います。 ④カフェも良いが、コンビニなどのお店があると良い。 ⑤ちょっとしたスポーツが楽しめる多目的コートや郊外型キャンパスの特性を生かして屋上に庭園をつくり学生の交流の場をつくる。	①No. 3の回答①を参照。 ②2階の事務局内および4階のエレベーターホール付近にオンラインブースを設ける計画です。 ③5～8階に設けられる数理情報工学科とマネジメント工学科のゼミナール室をエレベーターホール付近にまとめて配置しており、両学科のゼミナール使用時間外には全学で共有利用することを想定しています（具体的な使用ルール等は今後に検討）。また、1号館の教務課や学生課、24号館の就職指導課が新2号館へ移動することで空いたスペースの活用方法の1つとして、検討させていただきます。 ④学部内で検討して、学生満足度の向上に努めます。 ⑤新2号館各所に屋外テラスを多く配置し、学生同士が交流しやすい空間を計画しております。簡単なスポーツにも対応できる多目的スタジオや屋上庭園についても検討がされましたが、管理や建設費用の点から今回の新2号館の機能からは除外させることになりました。
教室	6	教室はどの席からもスクリーンが見えるように配慮して欲しい。	新2号館では、基本的にスクリーンではなくモニターを設置する方針で検討中です。複数台設置することで死角ができないよう十分に配慮いたします。

「新2号館」に対するご意見と学部からの回答			
カテゴリ	No.	ご意見	回答
教室	7	実籾が津田沼に来て、教室の確保は大丈夫なのか。	新2号館の新築と合わせて37号館や39号館などの既存建物の改修を行うことで、必要な規模の教室数を確保する計画です。
教室	8	まず、今後の長期的な運用を考えて意見を求めるのであれば、意見を求める上でもう少し長い期間で応じた方が良いと思います。しかし、限られた期間で意見を求めるとして現在実籾校舎にある教室数やキャバを越える許容量の教室が必要ではないでしょうか。現状でも決して教室数に余裕があるとは思えません。現状に比べて過密な運用にならないようなレイアウトを望みます。	実籾キャンパスの講義室数を新2号館のみで賄うのではなく、既存の講義室を含めて津田沼キャンパス全体で講義室数の見直しを進めています。新2号館の計画と並行し、37号館や39号館の稼働率の低いサイズの講義室の改修を計画しています。
教室	9	VR空間やプロジェクションマッピング、無理と思いますが、国立科学博物館のシアター360のような空間があると創造的な教育・研究ができるかもしれません。OB のプラネタリウムクリエイターの大平さんとコラボできたりするとよいかも（球体の空間が必須かもしれませんが）。小型天文台や、上空や環境をモニターする設備があることで教育活動につながるのであれば、そういう施設が屋上にあってもよいかもしれません。	予算の関係上、そのような設備は新2号館には見込んでおりませんが、多様な教育を可能にする設備や機器の選定を計画しております。
教室	10	このように意見を寄せられる場を設けてくださり、ありがとうございます。資料を拝見して、採光が気にかかっております。学生はもちろん、教職員も明るく居心地のよいスペースになるよう、十分な照度を確保し、開放感を感じられるような設計をご検討いただければと思います。	各居室については自然光によって従分な明るさを確保できる計画としています。また、照明計画については非常に重要な課題であると認識しており、著名な照明専門家にアドバイザーとして設計チームに参加していただき、十分な検討を進めています。
教室	11	大きい作業できる場所が欲しいです。未来工房のような機材はなく作業ができる大きい机などある空間がいいなと思います。	新2号館ではありませんが、仮食堂については新2号館の食堂が完成した後に学生のモノづくり活動の場として活用することが検討されています。
カフェ	12	1階だけでなく、2階にもカフェがあると授業と授業の間の学生のコミュニケーションができる場所が多くなる。	面積や運営の都合上、1階のみとしています。
カフェ	13	食堂やカフェに、学生が混んでて入れないような店舗を勧誘して、大学の補助で安く提供できるとよい。	学部内で検討して、学生満足度の向上に努めます。
カフェ	14	カフェか教養基礎のスペースに図書とつながる何かがあるとよい。	4階のリベラルアーツカフェ（教養基礎サテライト）内に図書コーナーを検討しています。
カフェ	15	カフェがもう少し広い方が良いと思う。	建物内の他の用途とのバランスを考慮して面積を検討します。また、内部空間だけでなく外部テラスを充実させて、一体として利用できるように計画しております。
カフェ	16	①学生が座って談笑したり、食事をしたりすることができるスペース（テーブルとイス）があると良いと思う。現在は学生食堂しかないの、必要だと思う。添付されていた基本計画書から、購買やカフェがあることが分かるが、コンビニが入れば学生にとって、さらに充実したものになると思う。 ②設備的なものとして、エスカレーターは不要だと思う。1～3階までであれば階段で充分であることと、人感センサーで動くものでも消費電力が高いので不要だと思う。エスカレーターを設置するスペースを有効活用した方が良いのではないかと思う。同様に、明り取り？であっても吹き抜けにしない方が有効的だと思う。 ③多目的スペース等に学生が就職活動等（オンライン面接やオンラインの企業説明会）で利用できる座席等を設けて欲しい。コロナ禍から学生や保護者からの問い合わせが多くなって来ていること、他学部や他大学でも設置していることから「個室型WEB会議ボックス」の設置も望む。そのほか、企業や学生との面談スペース（個室）がいくつかあれば、教務・学生・就職指導課で使うことができ、学生サポートにつながる。 教学系の3課のうち教務・学生課は、申請書等の提出物が多いので、学生が記入するカウンターやスペースがあるとより良いと思う。 学生が良好に接続可能なWi-Fi環境や豊富なコンセントの差込口等を整備すると、学生の講義ばかりでなく課題を行う際にも良い環境になると思う。	①広いカフェや食堂、テラスなど多様な居場所作るコンセプトです。コンビニについては運営の都合上出店の予定はありません。 ②No. 3の回答①を参照。 ③No. 5の回答②を参照。 PCやタブレットによる学習が一般的になっていることからカフェや多目的室のカウンターにコンセント等の設置を検討します。
食堂	17	3. 4階食堂に学生が集中したときにさばききれるのか。	3階・4階の食堂以外に1階のカフェにおいても軽食の販売を想定しています。計約900席程度の座席を確保し、利用者数に見合った厨房能力を確保するよう検討しています。
食堂	18	食堂のキャバが足りないです。実籾でもキャバギリギリで、大久保でもキャバギリギリなのに今までの1.5倍は必要です。昼休憩で昼食が食べれなくなる。	No. 17の回答を参照。
食堂	19	実籾では食堂の外に列ができる状態なので、3. 4階食堂に安全に並びきれるのか心配である。	食券器の整列位置、配膳エリアの整列位置を想定し、安全に並べるよう配慮します。

「新2号館」に対するご意見と学部からの回答

カテゴリ	No.	ご意見	回答
食堂	20	食堂の混雑を考えると別の場所にテイクアウトする場所があるとよい。	適宜、キッチンカーや弁当販売も検討いたします。
食堂	21	冷たいお茶出してください	学部内で検討して学生満足度の向上に努めます。
食堂	22	朝学食を新しい食堂でもやってほしい	朝学食の導入については検討させていただきます。
学生生活	23	学生が相談できる場所も新2号館に必要ではないか。	2階事務室内に相談コーナー及び相談ブースを設けます。
学生生活	24	カウンセラー室や保健室は新2号館に作らないのか。	現在のところ新2号館には設置の予定はありません。1号館内を改修を計画し、より利用しやすい施設の整備を検討しております。
学生生活	25	新館に限らずですが、有料でも良いので女子トイレに生理用品を設置して欲しいです。	新2号館に限らず、キャンパス全体での導入を検討して学生満足度の向上に努めます。
学生生活	26	簡単なものを預けておけるロッカーが欲しい	新2号館に限らず、キャンパス全体で設置できる場所を検討いたします。
学生生活	27	各学科各学生向けの個人用ロッカーがあると良いように思います。例えば座面用のクッションみたいな、学内でしか使わないが、いちいち荷物に入れて持ち運ぶにはかさばるようなものをしまっておけるスペースが個人個人に与えられていると、非常に便利で、学生生活が改善されるように思います。	No. 26の回答を参照。
オンラインブース	28	就職のWEB面接がこれからも行われていくので、プライベートボックスを設置して欲しい。	No. 5の回答②を参照。
オンラインブース	29	①教育事務部門の個別相談スペース（ブース）等があった方がよい。 ②多くの方は実感がないかと思いますが、地方（千葉）学部では研究事務課と就職指導課が近い位置にあることはメリットがありました。地元の中小企業が技術相談と求人活動を1つの建物で行えたからです。今後の10年20年先を見越すと一般学生の世代は確実に減少するので、就職指導課が新2号館へ移動するのであれば地域（地元企業）とのつながりを見越して2Fの講義室スペースに研究事務課や地域・企業等との交流スペースなどを設けても良いのではないかと思います。 ③トイレの位置の記載がなかったのですが、「誰でもトイレ」が1～4階は各階にあると良いと思いました。 ④エレベーターの基数が気になりました。特に1～4階への利用者が多いと思いますので、低層用（1～4階）と高層用（1～8階用）とに分かれていると便利だと思いました。エスカレーターだと車椅子の利用はできないため、吹き抜けに低層階用のエレベータがあると車椅子利用者も便利かもしれません。 ⑤教職員用の駐輪場の場所は変更になりますか。	①No. 23の回答を参照。 ②教務課と学生課が新2号館へ移動することで空いた1号館のスペースに研究事務課を移動させ、事務を集約させることは検討されていますが、現時点では未定です。 ③誰でもトイレ（多機能トイレ）は1階・3階・4階に配置を検討しています。 ④基本的に、低層階の移動はエスカレーターと階段、高層階の移動はエレベーターの利用を想定した計画です。車いす利用者については、すべての階・場所にエレベーターでアクセスできるように配慮しています。 ⑤新2号館近辺に配置することを計画しております。
オンラインブース	30	自習室（ズーム会議の、就活やミーティングが出来る）が必要不可欠。現状、オンライン会議ができる場所がなく、空き教室などを探してなんとかしている状況です。数が少なく、予約制にしてもいいので必要です。	No. 5の回答②を参照。 新2号館だけでなく、他の建物の改修を含め、自習室の準備やオンラインブースを設置を計画しております。
オンラインブース	31	就活などでzoomを利用することが多かったのですが、いい場所がなかったのでzoomができるようなスペースがあると良いと思いました。	No. 5の回答②を参照。
事務室	32	是非、キャリア支援のフラッグシップとなるような位置づけで就職指導課事務室の移設を望みます。着任して間もないですが、文系の就職支援とは違い、理工系ならではの学科内事務においても就職事務が存在することから、学生のUsageを上げるようなことが先ずひつようなのではないかと思います。実施設計までに具体案についてのヒアリング等の機会は設けられるのでしょうか。どうぞよろしくお願いいたします。	アクセスの良い2階事務室内に就職指導課を移設し、学生が通いやすいキャリア支援の場となるよう計画します。
事務室	33	学生や保証人、卒業生等を教務課及び学生課から会計課及び庶務課へ向かわせることが多い。学生等の導線が分かりやすいとありがたいと思う。また、37号館や39号館のように、エレベーター待ちの行列ができないようになるといいと思う。特に39号館の4基一括のような造りだと、イベントの際にも困らない。	事務の動線については、将来的に新2号館と1号館を2階ブリッジで接続可能な仕様となっており、段階的に利便性を向上させていく計画です。 エレベーターについては待ち時間が少なくなるような管理方式を計画しております。
設備	34	頻繁に移動するところにエスカレーターを設けて欲しい。	1階から3階の講義室が配置されている階についてはエスカレーターを設置してスムーズな移動ができるよう計画しています。

「新2号館」に対するご意見と学部からの回答			
カテゴリ	No.	ご意見	回答
設備	35	特にバリアフリーの強化を希望します。 また、新規入学生を勧誘するには外部コンビニやカフェの介入をお願いしたい。	全館バリアフリー対応となっています。また、誰でもトイレ（多機能トイレ）も複数箇所に設置を計画しております。 1階には学生や教職員だけでなく、地域の方々にも開放された魅力的なカフェを計画しています。
設備	36	電源の場所を増やしてほしい	No. 16の回答③を参照。
設備	37	学食を使わない人のために、電子レンジと給湯器を何台か欲しいです。	安全上・管理上問題の無い範囲で設置を検討しております。
設備	38	電源の場所を1席1個とは言わないが、場所問わずある程度のが数が担保できるようにしてほしい。	固定席の講義室については、PCの利用を想定して座席に電源を確保する計画です。 その他、No. 16の回答③を参照。
設備	39	ゼミの後などで換気をしたいので、空気の流れが通りやすい設計だとありがたいです。現在の数理情報工学科の1階は半地下なので、非常に換気がしづらいためです。	換気を含めた空調設備の設置が計画されておりますので安心して利用できるかと思います。
その他	40	3階の基礎教養ラウンジ及び基礎教養ブースコーナーはどのような使い方を想定しているか。	教養基礎の講師の方々への授業準備、学生からの質問や相談への対応、学生FDの活動場所などの使用を想定していますが、具体的な使い方は今後検討していくことになります。
その他	41	「学びの森」を具現化するシンボリックな校舎になるかと存じます。 ①教養・基礎（サテライト）に、アカデミックアドバイザールームや講師室のスペースを確保いただきたいと存じます。 ②上り（のみ？）エスカレータが設置されているが、ラーニングコストや維持が出来るのかが心配です。37号館や39号館のようにエレベーター4基ほど用意するか、理工学部お茶の水キャンパスのワクチン接種会場のような、一気に3階に移動できる階段にしては如何でしょうか。いづれにしろ、10年、20年と昇降装置として維持できるかが問題です。	①ご意見をいただいたように計画を進めてまいります。 ②No. 3の回答①を参照。
その他	42	現在2号館に入っている校友会の部屋はどうなっているのか。	1号館の教務課や学生課が新2号館へ移動することで空いたスペースに移動する方向で検討中です。
その他	43	道路や教室外の会話等による騒音、ビル周りの風環境について配慮されているか気になりました。	騒音については窓及び扉の仕様に配慮し、受講の妨げにならないよう配慮します。風環境についてはシミュレーションにより検証しています。
その他	44	23号館にeスポーツスタジオができたときに、見学に来た学部執行部の先生から「eスポーツの部屋は新2号館の1Fや2Fなどの多くの人に見てもらえる場所に設置する」という話がありましたが、そのような計画はあるのでしょうか？もし、そのような計画がないのであれば、数理情報のスペースにおいて設置を検討しなければならないのでコメントさせて頂きました。	就職指導課が新2号館へ移動することで空いた24号館1階スペースの活用方法の1つとして検討中です。
その他	45	①高層階の南側は、海側（幕張）の眺望を楽しめるスペースが欲しい。 ②2号館以降、校舎を新築する際は、地下に駐車場（兼物置）を作ってはどうか。	①高層階の南面には自販機コーナーを設ける等、眺望を楽しめる空間を検討します。 ②地下駐車場については初期段階で検討課題に挙がりましたが、予算的に難しく実現できませんでした。
その他	46	図面を見たが、吹き抜けがあるのは開放的でよいが夏の暑い時期と冬の厳冬期は実質人がいなくなると思うので夏と冬の時期の活用方法を考えた方がよいと思う。夏はスプリンクラー的なものがあると嬉しい。	吹き抜け空間については、居心地のよい空間となるように実施設計において詳細を詰めてまいります。
その他	47	より大学さが増して良いと思った。	より満足度を向上できるよう計画していきます。